

水戸市

MITO City

■由来／水の出入り口を意味する「水の戸」という意味の「みと」を市名としました。

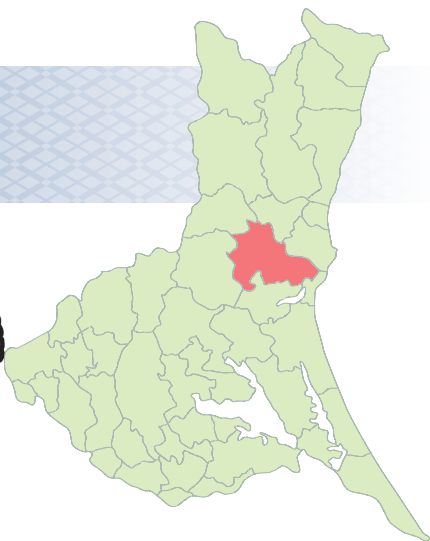
■市の花／萩

木／梅

鳥／ハクセキレイ



みとちゃん



江戸時代から本県の行政、経済、文化の中心地として発展を遂げる水戸市。市の中心部に千波湖を抱え、平成27年4月に日本遺産に認定された日本三名園の一つ偕楽園や、弘道館など歴史文化遺産が数多く残されています。また、JR常磐線、JR水戸線、JR水郡線、鹿島臨海鉄道大洗鹿島線などの鉄道、国道6号、50号、51号、118号など交通の便が良く、県庁のほか国の出先機関や大手企業の支店なども集中し、人と文化の交差点としての役割を果たしています。歴史的にも貴重な史跡が数多く、縄文時代の大串貝塚のほか吉田古墳、愛宕山古墳、台渡里官衙遺跡群などもあり、古代からの繁栄を物語っています。

観光カレンダー

2月中旬～3月下旬	水戸の梅まつり
3月下旬～4月上旬	水戸の桜まつり
6月中旬～7月上旬	水戸のあじさいまつり
7月下旬～8月中旬	水戸黄門まつり
9月中旬～10月上旬	水戸の萩まつり

弘道館

水戸藩の「藩校」

天保12年(1841)年に水戸藩第9代藩主徳川斉昭公により創設された日本最大規模の藩校。慶喜公も5歳から11歳までここで英才教育を受けました。正門、正庁、至善堂は国の重要文化財に指定されています。

スポット



保和苑

徳川光圀公ゆかりの庭園

元禄時代、徳川光圀公(水戸黄門さま)が寺の庭を愛されて「保和園」と名づけたのが始まりといわれています。あじさいや紅葉の名所として知られています。

スポット



水戸芸術館

螺旋状のタワーが目印

建築家・磯崎 新の設計による複合文化施設。水戸市の市制施行100周年を記念した高さ100mの塔(展望室あり)、コンサートホール、劇場、現代美術ギャラリーで構成され、自主企画による多彩な事業を展開しています。

スポット



水戸市民会館

スポット



水戸城大手門

スポット



茨城県近代美術館

湖畔にたたずむ美術館

千波湖のほとりにあり、横山大観や小川芋銭、中村彝など県にゆかりの作家から、モネ、ルノワールら西洋作家の作品などをテーマに沿って展示するほか、国内外の優れた作品による企画展を開催しています。

スポット



水戸城二の丸角櫓

スポット



水戸城跡二の丸展示館

スポット



偕楽園

日本三名園の一つ

天保13年(1842)に水戸藩第9代藩主徳川斉昭公によって造られ、金沢の兼六園、岡山の後楽園とともに日本三名園の一つに数えられています。偕楽園の名称は、「孟子」の「古の人は民と偕に楽しむ、故に能く楽しむなり」という一節からとられています。早春には約100品種、3,000本の梅の花が咲き誇り、梅の名所として親しまれているほか、桜やつつじ、萩といったように季節によって様々な顔をのぞかせます。好文亭3階の「楽寿楼」から眺める、千波湖や田鶴鳴梅林(たづなきばいりん)、四季の原といった雄大な自然の景観は格別です。



スポット

水戸黄門まつり

令和元年にリニューアル!

水戸の夏の風物詩として愛されるまつり。国内最高峰の花火師による「水戸偕楽園花火大会」をはじめ、本祭では、参加して楽しめる「水戸黄門提灯行列」や「水戸ふるさとみこし渡御」のほか、山車巡行、神輿連合渡御、水戸黄門カーニバルなど、多数イベントが開催されます。



イベント

水戸の梅まつり

水戸の春は梅の花から

日本遺産の偕楽園と弘道館を会場に開催されます。偕楽園では約100品種3,000本、弘道館では約60品種800本の梅が咲き誇り、期間中は様々な催しが行われます。令和7年からは、偕楽園の歴史的背景に寄り添った夜間のライトアップイベント「偕楽園 UME The Lights」も開催されています。



イベント

水戸市植物公園

令和3年にリニューアルオープン

8万㎡の広大な敷地に花壇や植物館などが集まる洋風庭園。季節のハーブや薬草を楽しむことができる「水戸 養命酒薬用ハーブ園」や花々を眺めながらくつろげる「レストランフィオレンテ」など、癒しの休日を演出するスポットもおおすすめです。



スポット

茨城県立歴史館



スポット

茨城の歴史を実物資料、模型、レプリカや映像などで解説しています。古文書類などを一般公開する閲覧室もあります。

千波湖



スポット

偕楽園の南東に位置する周囲3kmのひょうたん形の湖です。桜並木の遊歩道が湖をぐるっと囲っており、湖畔には令和8年4月に飲食やアウトドアなどを楽しめる複合施設「みと好文テラス」がオープンしました。

地酒

お土産



全国新酒鑑評会で金賞を受賞した吉久保酒造の「一品」や、明利酒類の「副将軍」などの銘酒のほか、クラフトビールやワインなどの地酒がそろっています。

水府提灯

お土産



岐阜や八女とならび「提灯の日本三大産地」に数えられる水戸の提灯は、「水府提灯」の名で知られ、堅牢なつくりが特徴です。

納豆

水戸名物といえば納豆



お土産

源義家が永保3年(1083)に、水戸市の渡里町の一盛長者の屋敷に泊まった折、馬の飼料に作った煮豆の残りを藁で包んでおいたところ、煮豆が自然に発酵し、納豆ができたという伝説があります。水戸の納豆が全国的に有名になったのは、明治22年の水戸駅の開業に合わせ、駅前の広場で売り出されたのがきっかけとされています。

県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

笠間市

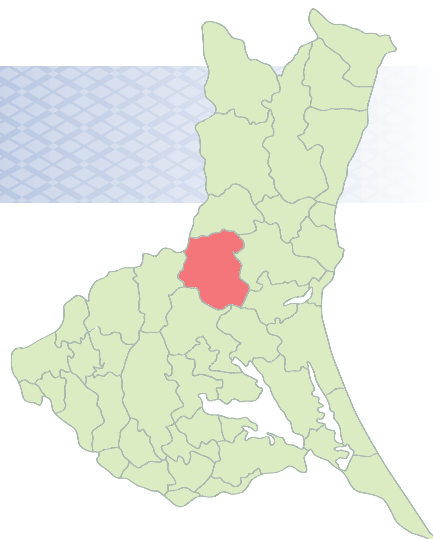
KASAMA City

■由来／笠間地区(合併前の旧笠間市)の土地全体が「すげ笠」に似ており、すげ笠を裏返しにしたような土地の間に里があることから名づけられたとする説など諸説あります。

■市の花／きく
木／さくら
鳥／うぐいす



笠間のいな吉®



豊かな自然に恵まれた笠間市は日本三大稲荷の一つ笠間稲荷神社の門前町として古くから発展。鎌倉時代から江戸時代にかけては佐白山を居城にした笠間氏によって城下町がつくられました。以降、江戸時代も発展を続け、歴史を感じる史跡や祭事、郷土芸能が数多く伝承されています。近年は「陶芸のまち・笠間」として陶芸家が多く住むことから、県内でも屈指の芸術スポットが多く、茨城県陶芸美術館や笠間日動美術館などの美術施設や窯元に多くの美術ファンが訪れます。

観光カレンダー

4月29日～5月5日	笠間の陶炎祭
4月中旬～5月上旬	笠間つつじまつり
9月下旬～10月上旬	かさま新栗まつり
10月上旬	笠間浪漫
10月下旬～11月下旬	笠間の菊まつり
12月第3日曜日	悪態まつり

笠間工芸の丘

笠間芸術の森公園内にあり、散歩やピクニックに最適です。施設内ではろくろ、手ひねりを体験できる体験工房のほか、様々なクラフトワーク体験ができます。また、近くには「茨城県陶芸美術館」もあり、最高水準の芸術品に触れることができます。笠間焼を中心としたお土産コーナーやカフェラウンジも充実しています。



陶芸体験が楽しめる

スポット

筑波海軍航空隊記念館

笠間市には、地下戦闘指揮所など、貴重な海軍航空隊史跡が現在も残されており、過去から未来へ目を向ける様々なきっかけを与えてくれる場所として多くの人々に感銘を与えています。ベストセラー小説をもとにした映画、『永遠の0』のロケ地にもなりました。



大戦の歴史を残す史跡

スポット

茨城県陶芸美術館

「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマに、平成12年、誰もが気軽に立ち寄れる県立美術館として開館しました。国内外の優れた作品を鑑賞できる企画展や、茨城県ゆかりの文化勲章受章者板谷波山・重要無形文化財保持者松井康成のコレクション展、笠間焼の歴史や技法を紹介するコーナーなど、笠間焼・陶芸の魅力を広く発信しています。



陶芸の魅力を紹介

スポット

春風萬里荘



スポット

陶芸や書道など、多方面で才能を発揮した芸術家・北大路魯山人の鎌倉の住居を笠間の地に昭和40年に移築。内部には、自らが設計した茶室など、魯山人の美意識が随所にみられます。

ETOWA KASAMA



スポット

愛宕山山頂付近にあるグランピングやキャンピングをはじめとしたアウトドアリゾート施設。施設内にはアウトドアバーやファイヤープレイスがあり、非日常で上質な空間を家族や友人と過ごすことができます。

北山公園



スポット

山の起伏をそのままに活かした園内では、高さ23mの展望台や長さ161mのローラー滑り台が人気です。オートキャンプ場やバーベキュー場(要予約)は多くの家族連れで賑わいます。

石の百年館



スポット

約100年に及ぶ採石の歴史が、貴重な資料と共に解説・展示されています。外壁には、日本伝統の「杉綾文様」が取り入れられるなど、稲田石材業の加工技術の高さを物語っています。

かさま歴史交流館井筒屋



スポット

明治中期建築の「旧井筒屋旅館本館」を当時の雰囲気のまま観光交流拠点ヘリノベーションした施設です。カフェや歴史展示コーナーを設け、一年を通して企画展やイベントを行っています。

あたごフォレストハウス



スポット

愛宕山山頂付近に広がる「あたご天狗の森」のリノベーションが、いばらきデザインセレクション2025で最高賞となる「大賞」を受賞しました。既存の休憩所や遊具を活かしながら、山の魅力と調和する空間へと再生し、新たにパラノマカフェ・シャワー施設も誕生。

笠間稲荷神社

日本三大稲荷の一つ

1350余年の歴史を誇り、日本三大稲荷の一つとされている「笠間稲荷神社」。江戸時代末期に建てられた御本殿は、彫刻が優れていることから、昭和63年に国の重要文化財に指定されています。御祭神は宇迦之御魂神(うかのみたまのかみ)。生命の根源を司る「いのち」の根の神として、農業、工業、商業、水産業などあらゆる殖産興業の守護神として、人々の生活すべてに御神徳を授けてくださる神様です。境内に生える二株の藤は、樹齢400年にも及ぶもので、八重の藤は、昭和42年に県の天然記念物に指定されています。



スポット



笠間の菊まつり

イベント



明治41年に始まった、日本で最も古い菊の祭典です。笠間稲荷神社をメイン会場に色鮮やかな菊の花が市内全体を彩ります。

かさま新栗まつり

イベント



全国でも有数の栗産地として、さらなるブランド力向上を目指すために開催している「栗」をテーマとしたまつりです。生栗や焼栗、栗スイーツなどの販売のほか栗拾い体験や栗のゲームなどが催され栗づくしのイベント盛りだくさんです。

笠間の陶炎祭

笠間が陶器色に染まる

イベント



200名を超える作家や窯元が参加し、毎年多くの観光客で賑わう笠間焼の一大陶器市。期間中は笠間焼の展示販売はもちろんのこと、「笠間長石シリーズ展」などの企画展や作家が制作した「ぐい呑み1000個展」などが行われます。また、地元小学生が制作した土面を一堂に展示する「土面フェスティバル」など内容も盛りだくさんです。

悪態まつり

一風変わったまつり

イベント



13人の氏子が白装束姿の天狗に扮して16か所のほこらにお供え物をして回ります。この時に悪態(悪口)を言い合い、天狗に邪魔されながらお供え物を奪い合うという変わったお祭りです。先を争ってお供え物を奪い、これを制止する青竹の音と参詣者の大声でわめく「ばかやろう」などの悪態が神聖静寂な境内にこだまします。

笠間つつじまつり

イベント



昭和42年、市民による「つつじ一株運動」により始まりました。園内には様々な品種のつつじが植えられており、最盛期には小高い山一面が真っ赤に染まります。

笠間の地酒

お土産



笠間市では、平成25年12月に「笠間市地酒を笠間焼で乾杯する条例」を制定。笠間の地酒を笠間焼の器で乾杯する習慣を広めることで、まち全体を盛り上げています。

笠間いなり寿司

笠間名物のいなり寿司

グルメ



ご当地グルメ「笠間いなり寿司」。笠間といえば笠間稲荷神社、稲荷神社といえばキツネ、キツネといえば油揚げ、油揚げといえば「いなり寿司」。その特徴は、そば・くるみ・舞茸など様々な素材を使った「変り種いなり寿司」という点。お店によって様々な種類のいなり寿司を提供していますので、それぞれのお気に入りを探すのもおすすめです。

笠間の栗

全国有数の栗の産地

グルメ



笠間市は、全国有数の栗の産地となっており、穏やかな気候と火山灰土壌により、日本一と名高い栗が生産されることで知られています。毎年秋には、今人気のモンブランや栗スイーツなどが楽しめる「かさま新栗まつり」も開催され、期間中には多くのお客様で賑わいます。秋の味覚の代表格、日本一の笠間の栗をぜひご賞味ください。

ひたちなか市

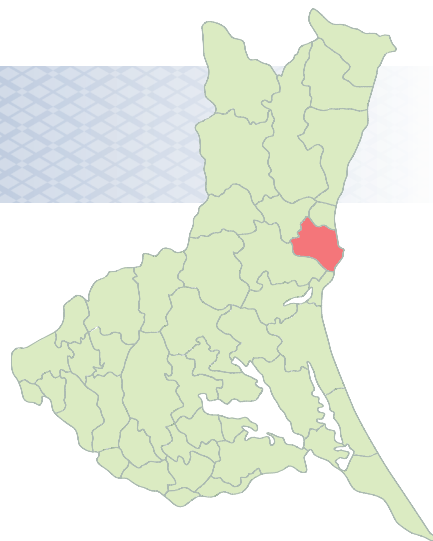
HITACHINAKA City

■由来／この地域が旧国名「常陸(ひたち)」の中心に位置する事と、かつて属していた郡名の「那珂(なか)」から「ひたちなか」となりました。

■市の花／はまぎく
木／いちよう
鳥／うぐいす



みなとちゃん



ひたちなか市は県のほぼ中央部からやや北東に位置し、東京駅から特急で約90分の距離です。東京―仙台を結ぶ国道6号は市の西側を、海岸寄りには国道245号が通っており、ともに交通の枢軸をなすとともに、近年常磐自動車道に加え、北関東自動車道、東水戸道路と高速道路も整備され、首都圏や北関東からのアクセスも良好です。

国営ひたち海浜公園や那珂湊おさかな市場、酒列磯前神社、ほしいも神社などが人気を集めています。全国から約2万人のランナーが参加する勝田全国マラソン大会や美しい海岸線を自転車で爽快に走り抜けることができるサイクリングコース「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」があります。

観光カレンダー

3月上旬～6月上旬	Flowering
8月	LuckyFes
8月中旬～下旬	ひたちなか祭り・花火
10月上旬～下旬	コキアカーニバル
11月	コーヒーフェスティバル

那珂湊おさかな市場

新鮮な魚介類がお手頃な価格で販売されている市場は、年間150万人を超える買い物客で賑わいます。旬の海鮮料理や回転寿司など、港町ならではのお食事処も多数軒を連ねています。



海の幸を堪能♪

スポット

ひたちなか海浜鉄道湊線

大正2年に運行を開始した歴史ある鉄道です。車窓からは、広大な田畑や田園風景が広がり、CMや映画の撮影場所としても利用されています。魅力溢れる「14.3kmのタイムトラベル」をお楽しみください。



レトロな雰囲気が人気

スポット

阿字ヶ浦海水浴場



スポット

約1.2kmの美しい海岸線を有する海水浴場には、夏になると県内外から訪れる多くの海水浴客で賑わいます。周辺には、ショッピングモールや日帰り温泉施設もあり、一日中楽しめます。

平磯海水浴場



スポット

堤防に囲まれ波が穏やかなため高波の心配がなく、家族で安心して楽しめます。海に浮かぶくじら型の滑り台「くじらの大ちゃん」は子供たちに大人気です。周辺には岩場があるので、磯遊びも楽しめます。

ほしいも神社

令和元年に建立された神社。ご神徳は「ホシモノ(欲しいもの)は総て手に入る」。黄金(ほしいも色)の鳥居はSNS映えすると話題です。



スポット

黄金の鳥居が話題!

酒列磯前神社

斉衡3年(856年)創建。ご神徳は「病気平癒」。緑のトンネルのような参道が美しく、海を臨む高台に鎮座し、境内は木々に囲まれた静かな空間が広がります。境内の亀の石像の頭をなでるとご利益があります。



スポット

亀をなでて運氣アップ!

勝田全国マラソン

70回を超える歴史と伝統のある大会には、全国から約2万人のランナーが参加します。参加者には、市の特産品である「完走」いもが配布され、上位入賞者は、世界最古の歴史を持つボストンマラソンに派遣されます。



イベント

約2万人のランナーが参加

国営ひたち海浜公園

花のテーマパーク

春はスイセン、チューリップ、ネモフィラ、バラが次々にバトンをつなぎ、華やかな世界を造りだします。なかでも、ネモフィラは、まさに花絶景！茨城県を代表とするスポットとして国内外から注目されています。空・海と共に創りだされる青一面で埋め尽くされたネモフィラは必見です。また、夏はふわふわとした緑葉のコキア、秋には、紅葉したコキアが丘一面を真っ赤に染め上げる景色が楽しめます。また、特別なナイトイベントとしてライトアップが実施され、美しく彩られたコキアを夜の幻想的な雰囲気の中で堪能することができます。、ほかにも茨城県花のバラが春と秋の年2回咲き誇るなど、1年を通して様々な種類の花々を楽しむことができる「花のテーマパーク」です。また、園内をめぐるシーサイドトレインやサイクリング、遊園地エリアのプレジャーガーデンも幅広い世代に人気です。



スポット

ひたちなか祭り

市民による手作りのお祭り

二日間にわたって開催されるお祭りです。初日の花火大会は、目の前で打ち上げられるダイナミックな花火を楽しむことができ、中でもフィナーレのメロディ付きジャンボスターマインは圧巻です。2日目はひたちなかソング「素敵な明日のために」で踊りを競う市民ダンスパレードや市民山車・神輿などが行われ、毎年、世代を問わず楽しめるユニークなイベントが企画されています。



イベント

コーヒーフェスティバル



県内外から話題のコーヒー店が集結し、キッチンカーやお菓子・雑貨などの販売を行うマーケットエリアを含めると、100店舗以上が出店します。

イベント

サイクリング



海沿いや自然豊かな風景を楽しめるひたちなか市のサイクリングコース。街中の名所を巡るコースなど計6コースあります。比較的平らな道路が多くサイクリング初心者におすすめです。

スポット

みなと八朔まつり



およそ330年前から地元住民によって代々愛され続け、伝統を繋いできた、格式高いお祭りです。御神輿が海に入る「お浜入り」、また、「獅子」と「みろく」の演舞や、きらびやかな各町内の「屋台」が町中を練り歩きます。

あんこう鍋

鍋の王様

「東のあんこう、西のふぐ」と呼ばれ、11月から3月にかけて味わえる茨城の代表的な冬の味覚です。あんこうは、脂肪が少なく低カロリーで、コラーゲンも豊富。老化防止や美肌効果があるのも、女性にうれしいポイントです。常磐沖を望む「那珂湊漁港」を有するひたちなか市で、冬の味覚あんこう三昧をぜひどうぞ。



グルメ

LuckyFes



LuckyFesは「音楽と食とアートの祭典」をテーマに開催されます。「アジア最大のテーマパーク型音楽フェス」をスローガンに地元ならではのグルメと多様な音楽ジャンルのアーティストが集結します。

イベント

スタミナラーメン

地元民熱愛のご当地グルメ「スタミナラーメン」。レバー・カボチャ・ニラ・キャベツなどをメインとした具だくさんの甘辛い餡が特徴で、ラーメンの上に熱々の餡をかけた「ホット」と、冷たくしめた麺に熱々の餡をかけた「冷やし」の2種類があります。どのお店で食べても具だくさんでスタミナ満点ですが、麺や具材は各店舗のオリジナルです。



グルメ

1度は食べてほしい！

SHIO_KAZE

ひたちなか市ならではのお土産

ひたちなか市観光協会が市と連携して取り組むプロジェクト「SHIO_KAZE」。「市民自らが自慢できる、市の魅力が伝わる」商品を作るため茨城県内のデザイナーとひたちなか市内の事業者がタッグを組みパッケージの磨き上げや商品開発などを行いました。



お土産

SHIO_KAZE

那珂市

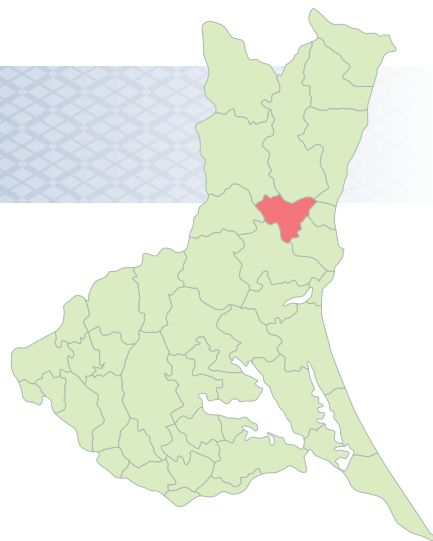
NAKA City

■由来／いつ頃から「那珂」という地名があったのかは不明ですが、8世紀に書かれた「古事記」では「仲国造」(なかのくにのみやつこ)、「常陸国風土記」では、「那賀(那珂)郡」という地名が使用されていました。

■市の花／ひまわり 木／八重桜
鳥／白鳥



ひまわり大使ナカマロちゃん



県の中央よりやや北に位置し、市の北側は久慈川が西から東へ、西側は那珂川が北西から南東へ流れており両河川の沿岸に開かれた水田地帯とそれに挟まれたほぼ平坦な那珂台地から成り立っています。白鳥の飛来する古徳沼や八重桜が咲き誇る静峰ふるさと公園など観光スポットにも恵まれています。8月頃には、那珂市の花であるひまわりが、なかLuckyFM公園(那珂総合公園)周辺に約25万本咲き誇ります。

観光カレンダー

4月中旬～4月下旬	八重桜まつり
4月、6月、10月、12月、2月 ※8月を除く(偶数月の第1日曜日)	ガヤガヤ☆カミスガ
7月下旬(3年に1度)	額田まつり
8月15日(3年に1度)	菅谷まつり(大助まつり)
1月下旬～2月上旬	雪まつり

八重桜まつり

ライトアップされた夜桜がおすすめ

「日本さくら名所100選」で八重桜の名所として選ばれた静峰ふるさと公園。12haの広大な園内には約2,000本の八重桜が植えられており、満開時の景色は壮観。毎年行われる「八重桜まつり」では、夕暮れから桜のライトアップが行われ、幻想的な雰囲気を味わうことができます。



スポット

那珂のひまわり畑

25万本のひまわりが見どころ

なかLuckyFM公園(那珂総合公園)周辺約4haの畑に25万本のひまわりが咲き誇り、圧巻の景色が広がります。見ごろに合わせて見晴らし台が設置され、ライトアップ期間は昼間と異なる景色を楽しむことができます。



スポット

那珂市曲がり屋

文久2年(1862)那珂市戸崎に建てられた農家で、市に現存する最後の曲がり屋です。平成11年9月、一の関ため池親水公園内に移築・復元。母屋から土間や厩が突出し、鉤の手に曲がっていることから、「曲がり屋」と呼ばれています。家屋内部では、当時の暮らしがわかる展示がされています。



スポット

清水洞の上公園

ホテルの飛び交う公園

清水洞の上地区は、豊富な湧き水が流れる池や山林、清水寺、また市指定天然記念物である「清水寺の杉」など豊かな自然が残る地域です。那珂市は、この豊かな自然を保護し、市民の憩いの場を提供することを目的として、森林の間伐や木道、湧水池などの他、来園者のためのトイレや駐車場の整備を行い、平成23年4月に「清水洞の上公園」が誕生しました。



スポット

THE BOTANICAL RESORT 林音(リンネ)



スポット

令和7年11月にリニューアルオープンした、日本初の「泊まれる植物園」。約600種類・5万本の植物が彩る園内には、グランピング施設やレストラン、温泉施設等が併設されています。

木内酒造



スポット

文政6年(1823)創業の造り酒屋。清酒「菊盛」をはじめ、焼酎、梅酒、ワイン、リキュールの他、世界的に有名な日本のクラフトビール「常陸野ネストビール」を製造しています。敷地内には蔵造りの蕎麦処「なま屋」や利き酒ができる店舗を併設。[手造りビール工房]では自分好みのマイビールを造ることができます。

ガヤガヤ☆カミスガ



イベント

水郡線上菅谷駅前の宮の池通りを歩行者天国にして開催するイベント。「カミスガプロジェクト」が主催し、多彩な業種の約60店舗が大集合。軽食や菓子などを販売します。

つぼ焼



グルメ

創業100年を超える老舗の名菓。昔懐かしいニッキの香りが漂うつぼ型の焼き菓子は、まろやかな黄身あん、ほっくりした紫芋あん、人参入り鳴戸金時芋のオレンジあんの3種類があります。

小美玉市

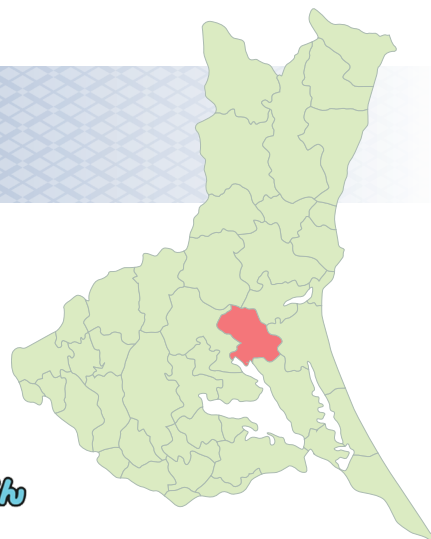
OMITAMA City

■由来／平成18年に「小川町」「美野里町」「玉里村」が合併し、歴史ある3町村の頭文字の1文字をとって「小美玉市」と命名。小さな玉が美しく磨かれていく、そんな夢の持てる市になるようになど、市を愛する多くの人々のさまざまな想いがあります。

■市の花／コスモス
木／ケヤキ
鳥／シラサギ



小美玉市マスコットキャラクター
「おみたん」



茨城県のほぼ中央に位置する小美玉市には北関東の玄関口として茨城空港（百里飛行場）があり、国内外を結ぶ拠点となっています。農畜産物の生産品目が多様で、特に卵や生乳は全国でも有数の生産量です。飲むヨーグルトなどの乳製品で乾杯するという風変わった条例を制定しているのも特徴です。霞ヶ浦の湖畔からは年に2度、筑波山頂に夕日が重なる幻想的な「ダイヤモンド筑波」が見られるなど、自然の魅力にもあふれています。

観光カレンダー

4月上旬	小美玉さくらフェスティバル
7月中旬	小川祇園祭
7月下旬	アワアワ祇園
8月下旬	玉里魔神祭

茨城空港

空の旅をもっと手軽に

国内主要都市および海外都市を結ぶ北関東の空の玄関口として、多くの利用者に親しまれています。約3,600台分の無料駐車場を備え、マイカーでも利用しやすい利便性の高さが特徴です。コンパクトなターミナルは移動距離が短く、搭乗まで快適に利用することも魅力のひとつです。

スポット



空のえき「そ・ら・ら」

空港から近い「食」のスポット

素敵な笑顔にあえる食彩ひろばとして地元小美玉市の豊かな「食」を楽しめます。茨城空港から500mの場所に位置し、直売所、レストラン、ヨーグルトハウスなどをお楽しみいただけます。令和8年6月にはサイクルステーションが完成。地域資源やその魅力を活かし、地産地消・交流・地域再生の拠点を目指す地域住民の思いが詰まった場所です。

スポット



ダイヤモンド筑波

スポット



毎年5月中旬と7月中旬の年2回しか見られない夕景。筑波山の頂上付近に太陽が沈む景色は、幻想的で貴重な瞬間です。

カゴメ工場見学

スポット



カゴメの工場見学では、カゴメの歴史や現在生産している野菜ジュースについて学ぶことができます。見学の最後には、試食タイムもあります。

小川祇園祭

祇園祭のはしりとも言われる祭り

イベント



素敵神社の祭事で、約480年前に園部城主によって始められたと伝わり、祇園祭のはしりともいわれるお祭です。祭では山車や獅子が巡行し、賑やかなお囃子が響き渡ります。最終日には神輿が小川地内を練り歩き、多くの見物客が集まります。祇園祭当日は、歩行者等の交通安全を図るため、一部区間で交通規制が行われます。

小美玉温泉湯～GO！

琥珀の湯でリフレッシュ

琥珀色の天然温泉を使用しており、露天風呂やサウナ風呂もあります。館内にはレストランやマッサージ、売店などもあり、お食事や休憩にもピッタリの施設です。

スポット



サイクリングロード

スポット



霞ヶ浦湖畔沿いにあり春には菜の花、秋にはコスモスが咲き誇るサイクリングロード。広大な霞ヶ浦や筑波山を眺めながらのサイクリングは爽快です。

ファントムイルミネーション

イベント



茨城空港公園航空広場にはF4ファントムの実機が展示されています。期間限定でイルミネーションが設置されており、幻想的に輝く冬の夜空を彩ります。

茨城町

IBARAKI Town

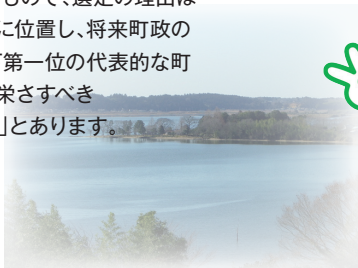
■由来／昭和30年に長岡村、川根村、上野合村、沼前村が合併。

町名は公募によるもので、選定の理由は「茨城県の中央部に位置し、将来町政の発展において県下第一位の代表的な町として永く存続繁栄さすべき意味をあらわした」とあります。

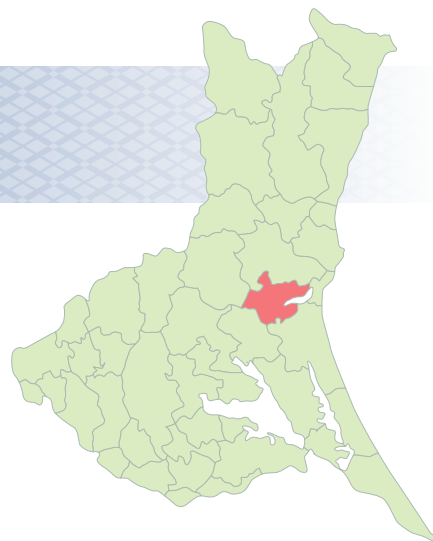
■町の花／桜

木／梅

鳥／うぐいす



ひめ丸くん



茨城県のほぼ中央部に位置し、町の東部には湖、沼沼が位置しています。沼沼は海水が流入するため、淡水魚と海水魚が共存し、良質のヤマトシジミの産地にもなっています。絶滅危惧種に指定されているミズアオイも生息、ヨシやイグサなどの密生する汽水域には新種「ヒヌマイトンボ」もあり、水辺の静かな自然の風情が楽しめます。農産物を紹介する体験型レジャー施設「ポケットファームどきどき」があり、名産のメロンやイチゴをはじめ、産直の新鮮な野菜や加工品が購入できます。

観光カレンダー

6月中旬～7月上旬	ひめまあじさいまつり
7月下旬	あんばまつり
11月上旬	いばらきまつり
12月	ひめまdeマルシェ

沼沼自然公園

沼沼を一望できるスポット

沼沼を一望できる「太陽の広場」、石のモニュメントが美しい「展望広場」、遊具のある「わいわい広場」、約1万株のあじさいが楽しめる「あじさいの谷」、丘の間を小さな溪流が流れる「せせらぎ広場」などがあり、四季折々の味わいを楽しむことができます。公園の一部にオートキャンプサイトを兼ね備えたキャンプ場が併設されています。



スポット

沼沼

ラムサール条約湿地登録！

沼沼は、関東地方では唯一、淡水と海水が混じり合う汽水湖です。沼沼で発見された絶滅危惧種のヒヌマイトンボが生息していることでも有名。平成27年5月にはラムサール条約湿地に登録されました。ラムサール条約は水鳥が生息する重要な湿地とその動植物の保全などを目的とした条約であり、沼沼の自然環境が国際的に認められました。



スポット

ポケットファームどきどき

旬な野菜・果物・ハム・ソーセージが揃う

ポケットファームどきどきは、「自然」と「農業」と「食べ物」をテーマにした、農業体験型レジャー施設です。獲れたての旬の野菜・果物そして手作りハム・ソーセージ、パン等の加工品も販売しています。また、「森のベーカリー&カフェ」や親子で体験できる「ソーセージ教室」なども人気です。



スポット

沼沼自然公園キャンプ場



スポット

沼沼自然公園の中にある沼沼自然公園キャンプ場。AC電源付きオートキャンプサイトは56区画、テントサイトは最大250張が設営できます。

沼沼水鳥・湿地センター



スポット

ラムサール条約登録湿地沼沼の歴史や汽水湖の環境、水鳥、魚類、昆虫、植物など豊かな生態系について紹介する展示コーナーと多様な保全活動や学習の拠点として利用できるレクチャールームの機能を有する施設です。

沼沼のしじみ



お土産

沼沼の銘産として知られるヤマトシジミは、淡水と海水が混じる汽水域にのみ生育します。現在数が減ってきており、大沼沼漁業協同組合による種苗生産などの取り組みが行われています。

ひめまあじさいまつり



イベント

平成7年に全面オープンした沼沼自然公園には「あじさいの谷」があり、オープンした当時は株が少なかったため町の花弁生産組合から寄贈されたあじさいを植栽しました。約1万株の花が見頃になった平成22年から「あじさいまつり」を開催することになり、毎年多くの方が訪れるようになりました。

あんばまつり

湖上に浮かぶ山車が特徴

天保9年(1838)下石崎広浦地区に天然痘が流行り、桜川村阿波(現在：稲敷市)の大杉神社の分霊を祭ったところ治まったのが始まりといわれています。阿波の大杉神社は水上安全の神様ともいわれており「あんばさま」の通称で信仰されています。沼沼の水上に「浮かぶ山車」が登場する全国でも珍しいお祭りで、おかめ・ひょっとこ・キツネなどの面をかぶりお囃子に合わせ踊りを奉納します。



イベント

城里町

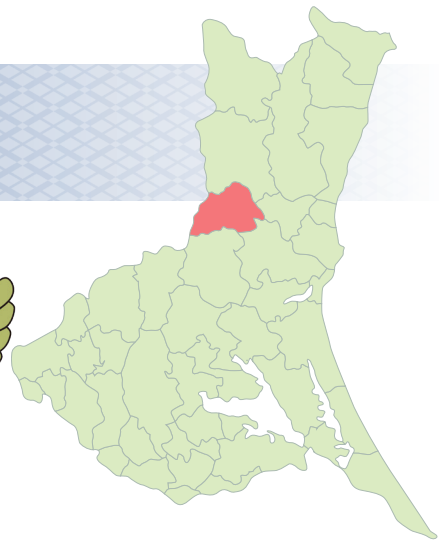
SHIROSATO Town

■由来／当地域が水戸城の北に位置し、昔から「城北(しろきた)地区」と呼ばれていたことから「城」。各町村に「ふれあいの里」「うぐいすの里」「山びこの郷」があったことや、日本のふるさとのイメージがあることから「里」という字を使い「城里」と命名。

■町の花／山ゆり
木／スダジイ
鳥／うぐいす



ホロル



県の北西部に位置し、那珂川・藤井川・皇都川などの豊かな水源と、肥沃な大地を利用した稲作や園芸作物の栽培が盛んに行われています。お米をはじめ、古内茶・赤ネギなどの特産品や伝統の漆工芸である「栗野春慶塗」も有名です。また、「桂の雛人形」は全国でも少なくなかった手づくりの雛人形です。キャンプや釣りなどが楽しめるレジャー施設「ふれあいの里」や温泉施設「ホロルの湯」、町内に7つあるゴルフ場などには県内をはじめ首都圏からも多くの方が訪れます。

観光カレンダー

4月上旬	城里町花まつり
6月中旬	青山花しょうぶ園開園
7月下旬	しろさと七夕まつり
8月中旬	しろさとふるさとまつり
11月中旬	ホロルのたまご〜しろさと町民まつり〜

御前山(皇都川)

関東の嵐山と呼ばれている

那珂川と織りなす景色は「関東の嵐山」と呼ばれています。標高156mで、子どもから大人まで気軽に登ることができます。昔、孝謙天皇が弓削道鏡を追い、密会していたという逸話が残っています。また、孝謙天皇がここに住んでいたということから、「御前」山の名前の由来になっています。皇都川は、御前山から那珂川に注ぐ川で、下流は伏流水で、見た目には枯れた川のように見えます。昔は洪水が頻繁に起き、これを弘法大師がお経を読んで、鎮めたため、水が流れていないといわれています。

スポット



鶏足山

弘法大師伝説の残る山

標高430.5m。弘法大師が修行した山といわれており、鶏石や護摩焚石などの逸話が残されています。鶏石は鶏の鶏冠のような形をしており、弘法大師が山中で鶏の鳴き声を聞いた際に石を見つければ、この石が鳴いたのだろと考えたことが名前の由来と伝えられています。護摩焚石は、弘法大師が石の上で護摩を焚いて修行したという伝承からその名が付けられたとされています。

スポット



ホロルの湯

スポット



「ホロルの湯」の泉質は、身体にやさしい単純アルカリ性で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、打身、慢性消化器病などに効果があります。

ふれあいの里

スポット



水戸ICから車で10分。キャビンやオートキャンプ場、バーベキューエリアがあり日帰りでも宿泊でも身近に自然を楽しめるキャンプ場です。

古内茶

お土産



茨城県三大銘茶の一つ。一番茶のみの生産で、ゆたかな香りと渋み、甘みが特徴です。かの水戸光圀公もその味の良さに感嘆したといわれています。

レッドポアロー

お土産



茨城県三大伝統野菜。鮮やかな赤紫色が特徴の赤ネギです。白ネギに比べ甘みが強く、熱を通すとさらに甘みが増し柔らかくなり、葉まで食べられます。

ななかいの里コシヒカリ

お米日本一コンテストで最優秀賞

七会地区は、古くから良質米の生産地として知られ、かつては水戸藩への献上米に選ばれていた米どころです。この土地で、昼夜の寒暖差やよい水、よい土を味方につけ、厳しい管理のもと作られたななかいの里コシヒカリは、平成23年にお米日本一コンテストで最優秀賞に選ばれ、その後も毎年入賞を果たしているブランド米です。噛めば噛むほど味がふくらむ飽きのこないおいしさです。

お土産



桂の雛人形

お土産



茨城県伝統工芸品にも指定されている全国でも少なくなっている手作りの雛人形。素材を吟味し、伝統的な工法によって生み出された雛人形です。

栗野春慶塗

お土産



日本三春慶の一つに数えられる日本最古の春慶塗。春慶塗は器物に透明な漆を塗り、木目が美しく透けるように仕上げる漆塗りの技法です。(県伝統工芸品)

大洗町

OARAI Town

■由来／波が砕け散る海岸にちなみ、太平洋の荒波がこの地を「大きく洗っている」ことからする説や「大荒磯(大あらいそ)」のなまったものとする説もあります。

■町の花／つつじ
木／松
鳥／かもめ



大洗町イメージキャラクター
「アライッペ」



茨城県の太平洋岸のほぼ中央に位置する大洗町。ゆるやかな浜が続くビーチは、海水浴やサーフィンのメッカとなっており、県内屈指の海のレジャースポットです。また「大洗」という記述は平安時代の文献にもみられるほど歴史は古く、大洗磯前神社や願入寺など歴史ある寺社仏閣や東北地方と江戸を結ぶ水運の中継地として街も栄えてきました。日本三大民謡の一つである「磯節」が伝承されていたり、八朔祭など伝統的な祭りにその名残が残っています。四季折々で豊かな海の味覚を楽しむことができ、はまぐりや牡蠣、しらす、あんこうなどが名物です。

観光カレンダー

3月中旬 大洗春まつり海祭フェスタ

8月下旬 大洗八朔祭

9月下旬 大洗海上花火大会

10月下旬 Night Park OARAI

11月中旬 大洗あんこう祭

大洗サンビーチ海水浴場

大洗を代表する海水浴場

快水浴場百選にも選定され、澄んだ水と広いビーチが特徴の美しい遠浅の海岸。波がそれほど高くないので子どもと一緒に安心して泳ぐことができ、入込客数は県下一を誇る。また、ユニバーサルビーチとして、障害を持った人でも安全に海水浴が楽しめるよう水陸両用の車いすの無料貸し出しや、専用駐車場、更衣室なども完備しています。



スポット

大洗マリンタワー

大洗のシンボルタワー

地上60mの大洗のシンボルタワー「大洗マリンタワー」。太平洋の一大パノラマが堪能でき、富士山、日光那須連山、筑波山を望むことができます。1階にはお土産館や観光案内所、2階には人気アニメ『ガールズ&パンツァー』とのコラボレーションカフェ「ガルバン喫茶Panzer vor」もあり、県外からも多くの人が訪れています。



スポット

大洗磯前神社

医薬・厄除・福の神

古くから「大洗さま」と親しまれてきた神社。平安時代に創設され、難病治療、家内安全、商売繁盛など、人々に幸を授けてくれます。拝殿は入母屋造で茨城県の文化財に、随神門は大洗町の文化財にそれぞれ指定されています。また、併設する大洗海洋博物館には、古来より使用されてきた海具や漁場模様が展示されています。



スポット

神磯の鳥居



スポット

平安時代前期の斉衡3年(856年)、神が降り立ったと言われる地。鳥居から昇る日の出を拝もうと大勢の人が訪れます。また、徳川光圀公が景観を称えた場所でもあります。

大洗キャンプ場



スポット

「森林浴の森100選」に選ばれた美しい松林のなかにある大型キャンプ場。広大な敷地で、のびのびとサイトアレンジが楽しめます。

大洗サンビーチキャンプ場

波の音と潮風を味わう!

大洗サンビーチ海水浴場に隣接した、太平洋を望む丘に広がるバリアフリー対応のキャンプ場。レンタルサービスも充実しており、初心者でも安心してキャンプを楽しめます。



スポット

大洗町商店街

様々なイベントを実施

TVアニメ「ガールズ&パンツァー」の舞台となった商店街には、各商店にキャラクターパネルや戦車パネルが設置してあります。また、商店街に来た人がお店に入りやすいように店主のパネルを設置し、本日のおすすめメニューなどを掲載しています。



スポット

アクアワールド茨城県大洗水族館

580種68,000点の海の生物たち

約580種68,000点の世界の海の生物に出会うことができる水族館。特にシンボルマークであるサメの飼育に力を入れており、約60種のサメを飼育しています。人気は全天候型のオーシャンシアターで開催される「イルカ・アシカオーシャンライブ」。バックに大洗の海を臨めるホールで、愛嬌たっぷりのアシカやダイナミックなイルカの演技が繰り広げられます。また、日本一の大きさであるマンボウ専用水槽や世界最大級のマンボウ剥製、世界最大のウバザメ剥製なども見ることができます。



スポット

商工感謝祭&大洗あんこう祭

冬の味覚あんこうを堪能する毎年恒例のイベント。あんこうの吊るし切りやあんこう汁の販売など、あんこうにちなんだ催しものが盛りだくさん。地元の特産品や飲食店なども出店し、まさにグルメの祭典といった雰囲気です。

大洗最大級のお祭

イベント



茨城国際フィッシングフェスティバル

イベント



カジキ釣りの国際大会をはじめとして、ステージイベント、カジキの解体ショー、ご当地グルメブース、体験コーナーなど、釣りファンはもちろん家族連れまで楽しめるイベントが実施されます。

大洗八朔祭

イベント



四海平穏、五穀豊穡を祈願するお祭りで、毎年8月下旬に開催。宵祭として山車が町内をまわり、本祭は大洗町商店街が歩行者天国となり、模擬店、山車巡業、神輿渡御などが行われます。

岩ガキ

グルメ



夏バテに即効力があるとして広く食べられている岩ガキは、冬ガキの2〜3倍の大きさが特徴。特にこの時期は産卵を控えているため、旨味も栄養もたっぷりです。ブリッとした触感とクリーミーなとろけ具合が生食の魅力です。

生しらす丼

グルメ



生しらす丼といえば、大洗町漁協直営店「かあちゃんの店」。大洗港で水揚げされた旬の地魚を多くの人に気軽に楽しんでもらいたいという漁師の奥さんの想いからオープンしたお店です。

あんこう鍋

冬の風物詩・あんこう

グルメ



「西のふぐ、東のあんこう」といわれるほど、「あんこう」はまさに茨城を代表する冬の味覚となっています。あんこうそのものは水分の多い白身で脂質量は低く、魚介類の中でも非常にカロリーの低い食材です。身はやわらかく淡泊で上品な味わいですが、皮、胃、卵巣、えら、ヒレなどは弾力性に富んだ食感が特徴で、鍋などにすると噛むほど味が出ます。

たらし

グルメ



もんじゃ焼きにも似た大洗のご当地グルメ。小麦粉を水でゆるく溶き、キャベツや切りイカ、卵、ネギなどお好みの具材を入れて醤油やソースで味付けしたシンプルな鉄板焼きです。

みつだんご

グルメ



小麦粉で作った団子を焼いて串に刺し、砂糖や醤油、片栗粉などを混ぜた「みつ」を絡めさせ、きな粉をまぶした、大洗を代表するスイーツ。大正時代から続くこの土地のおやつです。

大洗ブランド認証品

大洗名産の紅はるか

お土産



大洗町のイメージ、特色ある地域資源を活用し、優れた農産物、水産物および加工品を大洗ブランドとして認証。これまで観光色の強かった本町の「食」のイメージを融合させ、更なるイメージアップと地域活性化を目的としています。令和8年4月現在、39品目が大洗町ブランド認証品として登録されています。

県北エリア

県央エリア

県南エリア

県西エリア

東海村

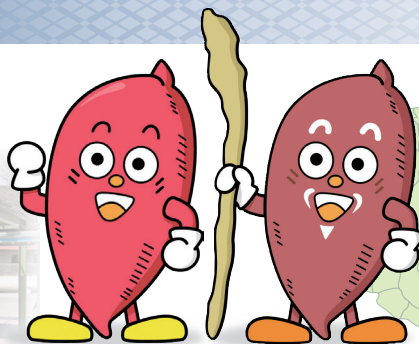
TOKAI Village

■由来／藤田東湖の『正気歌』にある

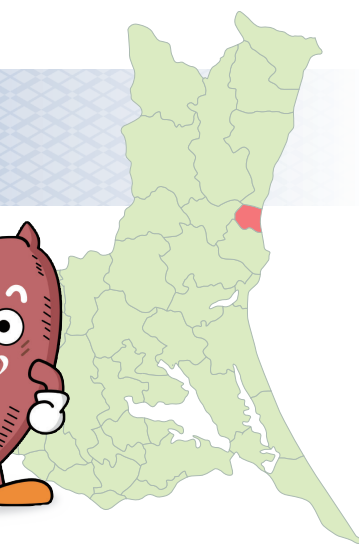
「孰か能く之を扶持するや、卓立す東海の浜」に由来します。昭和30年の村発足時に新命名されました。

■村の花／スカシユリ

木／黒松
鳥／メジロ



イモゾー・イモジ



北に久慈川、東に太平洋を望む東海村は、農業も盛んでサツマイモ、ナシ、ブドウなどの果樹やメロン、スイカなどが特産品としてあげられ、毎年11月には「東海I〜MOのまつり」が開かれ、秋の実りを祝い合います。干しいもの産地としても有名。歴史的には十三詣りで有名な村松山虚空蔵堂があり、周辺の人々の信仰を集めています。水戸八景の「村松晴嵐」の景勝地にも選ばれていて、白い砂浜と青々とした松林が素晴らしいコントラストを演出します。

観光カレンダー

8月上旬	東海まつり花火大会
9月上旬	大空夜宴
10月下旬	東海まつりイベント
11月23日	東海I〜MOのまつり

大神宮

伊勢神宮の分霊が祀られている

和銅元年(708)の創建と伝えられている歴史的に由緒ある神社です。伊勢神宮の分霊が祀られており、水戸黄門として知られる徳川光圀や斉昭の崇敬が厚かったことでも知られます。神殿を中心に、真砂山の「松」、参道の「竹」、境内の「梅」が見事に調和して神域の荘厳増し、茨城一の宮と尊称される風致を保持しています。



スポット

村松虚空蔵尊

日本の三体虚空蔵堂に数えられている

平安時代の初期に弘法大師によって創建された寺です。伊勢の朝熊虚空蔵尊、会津の柳津虚空蔵尊とともに日本の三体虚空蔵堂に数えられています。厄払い、特に人生で初めて厄年である十三歳にここで参拝すると、知恵と福德がさずけられると伝えられています。1月の三が日には約18万人が訪れ、賑わいを見せます。



スポット

石神城址公園

東海村石神内宿にある公園。昔はお城が建っていましたが今は整備され公園となっています。ここは春になれば桜の花が咲き誇り隠れた絶好の花見スポットとなっています。



スポット

真崎古墳群

7世紀〜8世紀に築造されたとされる古墳群。細浦に面した標高28mほどの台地上に立地する東海村最大の古墳群。遊歩道もあり、森林浴にはぴったりです。

東海I〜MOのまつり

毎年10,000人の来場者で賑わう「さつまいも」のお祭りです。さつまいもの魅力を存分に味わえる多彩なグルメが並び、子供から大人まで楽しめます。



イベント

東海まつり・花火大会

イベントでは、JR東海駅東通りを歩行者天国にして、音楽イベントやパレードが繰り広げられます。花火大会では、全国の花火大会等で数々の受賞経験を持つ「野村花火工業」が打ち上げを務め、迫力ある美しい花火を間近で鑑賞することができます。



イベント

干しいも

茨城県は、干しいもの生産量が全国で1位を誇り、その主な産地は、東海村とひたちなか市になります。11月〜2月の冬場の乾燥時期を利用して作られ、サツマイモの生育に適した水はけの良い砂地を含んだ土壌とともにほしいも作りは発展し、現在全国シェアは9割。男女問わず人気となっています。

日本の生産量9割を誇る



お土産

県央地域周遊コース

1 偕楽園 ＜水戸市＞



2 生しらす丼 ＜大洗町＞



3 アクアワールド 茨城県大洗水族館 ＜大洗町＞



4 国営ひたち海浜公園 ＜ひたちなか市＞



県央地域 人口(令和8年4月時点)・年間観光入込客数(令和7年)

	人口	年間観光入込客数		人口	年間観光入込客数
水戸市	265,037人	2,813,500人	茨城町	29,290人	403,700人
笠間市	69,959人	3,368,100人	大洗町	14,316人	4,761,700人
ひたちなか市	151,394人	5,081,300人	城里町	16,343人	412,400人
那珂市	51,387人	154,100人	東海村	37,461人	356,300人
小美玉市	46,175人	1,954,100人			

茨城県の豆知識②

『茨城県のナンバー1たち』



アクアワールド 茨城県大洗水族館 大洗町

サメの飼育種類数日本一の水族館

約580種68,000点の世界の海の生物に出会うことができる水族館。特にシンボルマークであるサメの飼育に力を入れており、サメの飼育種類数(約60種)は日本一です。



牛久大仏 牛久市

ギネスブック認定、世界最大120mの立像大仏

青銅製の立像としては世界最大の高さを誇る牛久大仏(正式名称:牛久阿弥陀大佛)。阿弥陀如来は方便法身の大尊形として顕現されたもので、総重量は 4,000トン、高さは阿弥陀如来の十二の光明にちなんで120mとされています。



茨城県立国民宿舎「鶴の岬」 日立市

宿泊利用率37年連続日本一を誇る絶景国民宿舎

「鶴の岬」は、昭和46年に開業した太平洋を臨むリゾート型の宿泊施設で、平成元年度以降37年連続で国民宿舎の宿泊利用率第1位に輝いています。「鶴の岬」が建つ約15haの伊勢浜国民休養地には、四季折々の美しい自然が広がります。



奥日立きららの里 日立市

気分爽快！日本一長いすべり台

奥日立きららの里のすべり台「わくわくスライダー」は、全長1,188メートル、877メートルの滑走部を滑り降りる日本一長いすべり台です。山頂からプレーキ付きのスレッド(ソリ)に乗って斜面を駆け抜ける、スリル満点の体験をすることができます。